

30x20
57

ii

これらの危険箇所について、最も有効な方法として、砂防工事あるいは急傾斜地崩壊防止工事を進めています。その整備率は十数パーセントといった状況です。

また、このような工事を進めるほか、危険住宅の移転あるいは災害を誘発、助長するいわゆる有害行為を規制するとともに、警戒避難体制の整備等を図る必要があります。さらに「自分の命は自分で守る」という意識のもとに土砂災害に対する認識を深めるとともに、土砂災害防止に対する意識の高揚を図ることが必要です。

今回、土砂災害のうち、特に人命に大きな被害を与える土石流と急傾斜地の崩壊、すなわちがけ崩れについて、その災害の状況や対策についてまとめてみました。

本書が土砂災害防止のために、少しでもお役に立てば筆者らの光栄とするところです。

また、本書を上梓に当り、引用させていただいた文献等の著者、資料を提供していただいた、建設省、都道府県の方がたに深甚な謝意を表わすとともに、本書の刊行に当り、一貫して熱心な御助力をいただいた、鹿島出版会の橋義雄氏に厚く御礼申し上げます。

著者一同

昭和五十八年八月

目次

まえがき

土石流・がけ崩れは、なぜ恐ろしいのか.....1

①人命に直接関係する土砂災害.....2

②最近の土砂による被害.....6

③土石流とは.....12

土石流とは／12 土石流の性質／14

④がけ崩れとは.....17

がけ崩れとは／17 がけ崩れの恐ろしさ／18

どのような時に、土石流、がけ崩れがおこるのか.....25

①雨と土砂災害.....29

②地震と土砂災害.....26

iii 日本は地震の巣／29 地震と土石流／32 地震とがけ崩れ／35

16-0-91

③雪と土砂災害	37
④火山と土砂災害	39

どのような場所に、土石流、がけ崩れがおこるのか

①危険がいっぱいの日本の国土	43
----------------	----

災害は忘れた頃にやってくる／47

②土石流はこんな所で発生する	44
----------------	----

地形と土石流／48 地質と土石流／50 土石流危険渓流とは／51

③がけ崩れはこんな所で発生する	48
-----------------	----

地形とがけ崩れ／53 地質とがけ崩れ／56 がけ崩れの危険箇所とは／56

④土石流危険渓流の診断法	53
--------------	----

過去に土石流災害はなかったか／59 川を歩いてみよう／60 家のまわりを調べてみよう／61

⑤がけ崩れ危険箇所の診断法	59
---------------	----

誰にでもできる診断法／63 国や都道府県が行っている診断法／67

災害を防ぐ方法

①こうして土石流災害を防ぐ	69
---------------	----

土石流の予知・予測は可能か／70 砂防指定地とは／72 砂防工事は誰が行うのか／73 昭和四十九年土石流災害の教訓／74 砂防工事による土石流対策／75 砂防

工事における各工法の効果／78 土石流対策工法の研究と開発／81 もし砂防工事をしなかつ

たら／82 自分の命は自分で守るために(1)／85 自分の命は自分で守るために(2)避難とその問

題点／86 国や都道府県は、どのように土石流災害に対応しているか／88

②こうしてがけ崩れ災害を防ぐ	90
----------------	----

がけ崩れ対策に関係する法律にはどんなものがあるか／90 急傾斜地の崩壊による災害の防止に

関する法律の目的は／94 急傾斜地崩壊危険区域とは／95 急傾斜地崩壊危険区域において

は、どんなことが規制されるのか／100 災害危険区域条例、がけ条例とは／105 がけ地近接危

険住宅移転事業とは／108 防災のための集団移転促進事業とは／110 宅地造成等規制法の内容

は／113 がけ崩れ防止工事はどんな時に行われるのか／115 がけ崩れ防止工事はどのような費

用で実施されるのか／116 がけ崩れ防止工事にどのくらいのお金が使われているか／118 がけ

崩れ防止工事とはどんなものか／120 がけ崩れ防止工事を行うに当って、特にどのようなことが

配慮されているか／128 自分たちでできるがけ崩れ対策とは／131

③明るい家庭を守るために

国の仕事と個人の努力／135 土砂災害防止月間／136